

会社の概要 (2012年10月1日現在)

商号 株式会社ティーツー
 英訳名 TAY TWO CO.,LTD.
 店舗名 古本市場、ブック・スクウェア、TSUTAYA、3Bee
 創業 1989年10月
 設立 1990年4月
 本社 岡山県岡山市北区今村650番111
 TEL (086) 243-8600
 東京本部 東京都品川区西五反田七丁目1番1号
 住友五反田ビル5F・6F
 TEL (03) 5719-4580
 代表者 代表取締役社長 堀 久志
 資本金 1,165,507千円
 従業員数 381名 パート・アルバイト1,289名

主な事業内容

古本、TVゲームソフト・ハード、CD、DVD等の販売・買取及びCD、DVDレンタル業務、Family Mart (コンビニエンスストア)の運営

役員 (2012年10月1日現在)

代表取締役社長	堀 久志	取締役(社外)	大谷 真樹
取締役副社長	荒井 薫	常勤監査役(社外)	武田 由隆
取締役	関本 慎治	監査役	北村 清人
取締役	寺田 勝宏	監査役(社外)	中山 泰章
取締役(社外)	高橋 誉則	監査役(社外)	平田 修

大株主

株主名	持株数	出資比率
株式会社ワイ・エイ・ケイ・コーポレーション	110,637 株	21.01 %
カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社	77,601	14.74
株式会社山陰合同銀行	21,000	3.98
ティーツー従業員持株会	18,499	3.51
株式会社中国銀行	11,000	2.08
東京海上日動火災保険株式会社	10,000	1.89
株式会社みずほ銀行	10,000	1.89
大橋康宏	8,173	1.55
株式会社トマト銀行	8,000	1.51
株式会社アイシーピー	7,300	1.38

(注) 当社は自己株式8,652株を所有しておりますが、表記しておりません。

ホームページのご案内

当社のホームページで最新情報を発信しております。ぜひ併せてご覧ください。

●トップページ



<http://www.tay2.co.jp/>

●IR情報

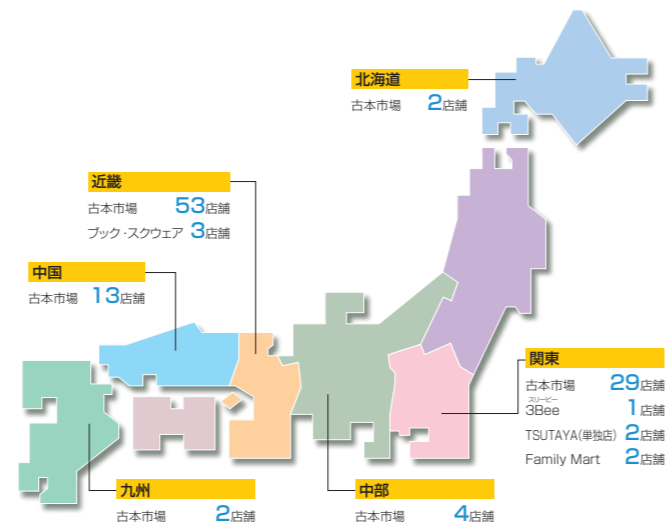


<http://www.tay2.co.jp/ir/index.html>

ティーツー

検索

店舗一覧 (2012年10月1日現在)

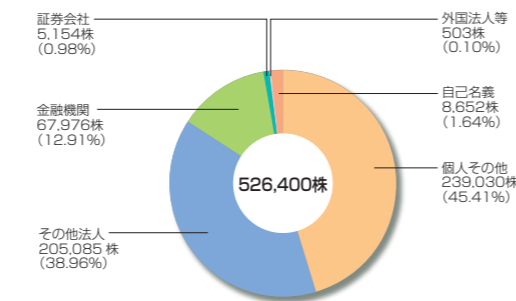


※各店舗の詳細につきましては、下記のURLをご参照ください。
<http://www.furu1.net/index.html>

株式の状況 (2012年8月31日現在)

■ 発行可能株式総数	2,000,000株
■ 発行済株式の総数	526,400株
■ 株主数	5,740名

所有者別株式分布状況



株主メモ

事業年度 3月1日から翌年2月末日まで
 定時株主総会 5月
 基準日 定時株主総会 2月末日
 期末配当金 2月末日
 中間配当金 8月末日
 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
 公告方法 電子公告により行います。ただし、電子公告を行うことができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。
 株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
 株主名簿管理人事務取扱場所 (郵便物送付先) 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 (郵便物送付先) 東京都江東区東砂七丁目10番11号 (〒137-8081) 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 ☎ 0120-232-711
 特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
 (郵便物送付先) 東京都府中市日鋼町1番10号 (〒183-8701) 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 ☎ 0120-176-417



株主の皆様へ

第23期中間報告書

(2012年3月1日~2012年8月31日)

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。さて、当社は2013年2月期の中間決算を終えましたので、その概要をご報告申し上げます。当上半期は、長期継続的な成長の実現に向け、前事業年度に行いました組織体制の再構築の上で、成長軌道に乗せるための経営基盤固めを行ってまいりました。

出店においては固定化していた既存のパッケージから脱却し、ゲーム専門ショップ「3Bee」や「TSUTAYA」単独店等の出店によって幅を広げ、既存店においては取り扱い商材を見直し、地域に合った新規商材を投入する等の収益性向上を行うことで、地域に根ざした店舗運営が可能となる基盤を整えております。

また、オペレーション改善による店舗運営効率の向上、間接部門の費用削減によって経営効率を上げ、そして経営理念を実行できる“人財”を生み出す仕組み作りのスタートを切り、経営資源の選択と集中を行ってまいりました。

当下半期には、スリム化し筋肉質となった運営体制の下、将来への先行投資として更なる出店及びスクラップ&ビルド、改装を行い、既存店を地域に合ったパッケージへと転換していくことで更なる収益性の向上を図ってまいります。

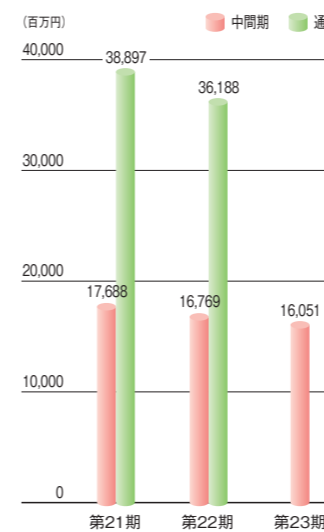
今後とも皆様方のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



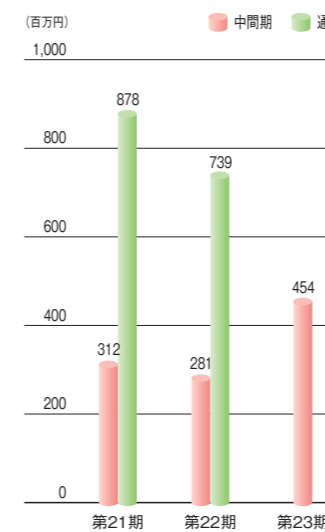
代表取締役社長
堀 久志

財務ハイライト(単体)

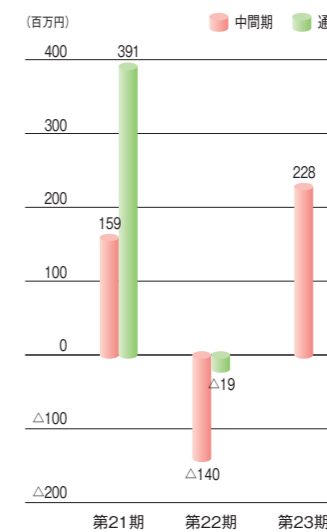
●売上高



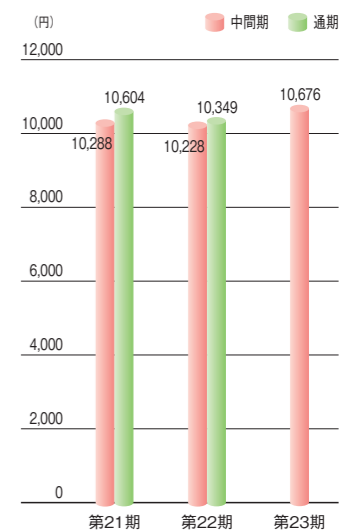
●経常利益



●中間(当期)純利益



●1株当たり純資産



財務諸表(単体)

貸借対照表(要約)

科目	貸借対照表(要約)	
	当中間期 (2012年8月31日現在)	前期 (2012年2月29日現在)
【資産の部】		
流動資産	7,935	7,852
現金及び預金	3,351	2,612
売掛金	298	300
有価証券	—	300
商品	3,562	3,907
その他	723	732
固定資産	4,278	4,367
有形固定資産	1,455	1,558
建物及び構築物	810	853
その他	644	704
無形固定資産	240	284
投資その他の資産	2,582	2,525
差入保証金	1,254	1,262
その他	1,328	1,262
資産合計	12,214	12,220

損益計算書(要約)

科目	損益計算書(要約)	
	当中間期 (2012年3月1日から 2012年8月31日まで)	前中間期 (2011年3月1日から 2011年8月31日まで)
売上高	16,051	16,769
売上原価	11,340	12,037
売上総利益	4,711	4,731
販売費及び一般管理費	4,269	4,459
営業利益	442	272
営業外収益	66	47
受取利息及び受取配当金	2	3
その他	63	44
営業外費用	53	38
支払利息	25	20
その他	28	18
経常利益	454	281
特別利益	—	25
特別損失	10	492
税引前四半期純利益 又は純損失(△)	444	△185
法人税、住民税及び事業税	215	△45
四半期純利益 又は純損失(△)	228	△140

科目	貸借対照表(要約)	
	当中間期 (2012年8月31日現在)	前期 (2012年2月29日現在)
【負債の部】		
流動負債	3,181	3,423
買掛金	953	893
短期借入金	300	750
1年内返済予定 長期借入金	682	781
ポイント引当金	242	256
その他	1,004	741
固定負債	3,502	3,429
長期借入金	2,454	2,255
資産除去債務	401	406
その他	647	767
負債合計	6,684	6,853
【純資産の部】		
株主資本	5,531	5,359
資本金	1,165	1,165
資本剰余金	1,119	1,119
利益剰余金	3,310	3,323
自己株式	△64	△249
評価・換算差額等	△3	△0
新株予約権	2	7
純資産合計	5,529	5,366
負債純資産合計	12,214	12,220

キャッシュ・フロー計算書(要約)

科目	キャッシュ・フロー計算書(要約)	
	当中間期 (2012年3月1日から 2012年8月31日まで)	前中間期 (2011年3月1日から 2011年8月31日まで)
営業活動による キャッシュ・フロー	1,140	102
税引前四半期純利益 又は純損失(△)	444	△185
減価償却費	236	291
その他営業活動による 増減額	342	264
小計	1,022	370
法人税等の支払額	△0	△248
その他	117	△19
投資活動による キャッシュ・フロー	△204	△20
有形固定資産の 取得による収支	△37	△45
無形固定資産の 取得による収支	△1	△26
差入保証金の 払込・返還による収支	18	△3
事業譲渡による収支	△44	80
その他	△139	55
財務活動による キャッシュ・フロー	△496	△555
短期借入金の純増減額	△450	—
長期借入金の 借入・返済による収支	99	△397
その他	△145	△158
現金及び現金同等物の 増加額	439	△473
現金及び現金同等物の 期首残高	2,828	1,368
現金及び現金同等物の 四半期末残高	3,268	894

貸借対照表のポイント

当中間期末の総資産は前期末と比べ、金額及び資産の内容に重要な変化はございませんでした。

純資産に関しましては、四半期純利益2億2千8百万円の計上があり、一方で配当金の支払いを行ったため、1億6千3百万円増加しております。

キャッシュ・フロー計算書のポイント

収益好転と在庫負担の減少による運転資金繰りの好転に伴い、営業活動によるキャッシュ・フローが大きく改善しております。

今後の新規投資活動を踏まえ、前倒しでの資金調達も実現しており、現預金残高は8億9千4百万円→32億6千8百万円へと大幅に増加いたしました。

損益計算書のポイント

売上面では前中間期には含まれていましたアイ・カフェ事業部門が、事業譲渡により当中間期には含まれておりませんので、売上高は減少しておりますが、同事業部門を除くと前中間期比ではほぼ同額の売上高となります。

また経費面では、オペレーションの改善による店舗運営効率の向上等により営業部門の経費削減、及び業務効率化による間接部門の経費削減により、将来に向けた投資は行いつつも経営効率が向上した結果、販売費及び一般管理費が減少し、営業利益及び経常利益が増加しております。

(単位:百万円)	2012/2期 2Q	2013/2期 2Q	増減
全社販管費	4,459	4,269	△190
営業部門	3,847	3,796	△51
間接部門	537	455	△82
その他	75	18	△57

特別損失に関しましては、前中間期は資産除去債務に関する会計基準の適用による△3億4千1百万円の影響、及びアイ・カフェ事業部門の事業譲渡損失引当金繰入△8千6百万円の影響がありましたが、当中間期には特に大きな影響額となる要因はございませんでした。

Topics

トピックス

当上半期には、前期より推進してまいりました既存事業の再構築、及びその足場固めを行うため、時代・地域・お客様のニーズに沿った店舗パッケージの展開を模索してまいりました。

■ 新規出店

新コンセプトであるゲーム専門パッケージ「3Bee (スリービー)」の出店、及びTSUTAYA単独店の出店を行い、既存パッケージである古本市場だけでなく、地域や状況に応じた臨機応変な出店が出来るようになりました。

■ 既存店

取り扱い商材の見直し、新規商材の投入、またそれに伴った改装を行い、それぞれの店舗ニーズに沿った商品構成にしていくことで、収益性の改善を行ってまいりました。特に当社のメイン商材である古本・ゲームと親和性の高いトレーディングカードについては、売り場構成比率を高める店舗を、改装を含めて増やしてまいります。

こうした将来への布石を打っており、当下半期には新規出店、既存店改装を加速し、更なる事業構造の最適化を図ってまいります。



TSUTAYA 横須賀堀ノ内店



TSUTAYA 衣笠店



トレーディングカード売り場